

付録 M

PMDの創り方のPMDによる、PMDの創り方の練習シート

この付録はPMDの創り方を身に付けるためPMDを作成するためのトレーニング・ワークシートです。

テーマ：PMDの作成

次ページをB - 4サイズのやや厚手の紙にコピーして、枠に従い線で切り取り、それぞれを独立したカードにして、それをA3縦の紙の上に並べてPMDを創って、PMDの創り方の練習をします。

この作業のはじめ方は、まずはじめに、A3の七位も書いていない用紙の右上に、切り抜いた「テーマ：PMDの作成」のカードを張ります。

それをテーマ（課題）名としてPMDを創ります。

手順としては、次の次のページの完成サンプルPMDを見ずにPMDを創ります。

PMDを自分なりに完成したあと、次の次のページに示したPMDを参考にして、手直し、納得をします。

カードの並べ方は、どの2枚のカードでもよいので、まず任意に捨出し、その2枚のカードの比較からどちらが目的として上位、

どちらが手段として下位になるかを上下に位置で、比較して、それが決まってから、次のカードを追加して、その上位か、真中か、その下位かの、どこにはいるかを決める。

どうしても上下に並ばないときは、そのカードを先に並べられているレベルの合うカードと同じレベルの横に並べる。

そして、それが決まったら、次のカードを取り出し、上記の手順を繰り返します。

注：いくつかのカードのうち、

「7. 一度作ったPMDを上司用PMDとして、要約して、要約PMDにする」と言う表現のカードが一番上に持ってきます。

PMDの作成 トレーニングシート

このページ左側をB・4サイズの厚手の紙にコピーして、枠に従い線で切り取り、それぞれを独立したカードにしてそれをA3サイズの白紙の上に並べてPMDを削って、PMDの削り方の練習をします。
この作業のはじめは、まずはじめに、A3用紙の右上に「テーマ：PMDの作成」のカードを張ります。それをテーマ（課題）名としてPMDを削ります。
手順としては、右のページの完成サンプルPMDを見ずにPMDを削ります。PMDを自分なりに完成したあと、このページの右に示したPMDを参考にし、手直しし、納得をします。
カードの並べ方は、どの2枚のカードでもよいので、まず任意に拾い出し、その2枚のカードの比較からどちらが目的（上位）、手段（下位）になるかを、「・・・を・・・する」の上下の関係で比較して、それが決まったら、次のカードを追加して、再び次のカードが、その上下関係のどこにはいるかを決める。
上記の手順を繰り返し、全部のカードを全部並べます。
カードの中に、素案、素案、素案という言葉が出てきますが、素案はたたき台、素案はそれを調整したもの、案は決定の一手手前の案と解釈してください。

（注）ここでは、教育資料のため左端に番号があるが、通常は、つける必要はない。

テーマ：PMDの作成

質問

1. 要するに、われわれはそれになにをしようとしているのか？
2. 要するに、なにをしさえすればよいのか？

2. テーマ候補名を名詞か名詞句にする。

例：「PMDの作成」、「PMDを作成すること」
ただし、どちらかというとき「PMDの作成」の方がテーマとしてふさわしい。

3. テーマを決める。

4. 差の情報による意思決定のメカニズムのパンフレットを読む。

5. 要するに「我々はそれで何をしようとしているのか？」の答えになる内容を「・・・を・・・する」という表現で書き出す。（各表現の書き始めには・印を付ける）

6. 書き出した表現をハサミで切って独立したカードにする

7. 一度作ったPMDを上司用PMDとして、要約して、要約PMDにする

8. 書き出した表現を「・・・を・・・する」のために「・・・をする」という順序に上から下へ並べる。

9. 関係者の価値の方向を目に見えるようにする。

10. どうしても縦に並べない表現だけを横に並べる。

11. 同じレベルに並んだ複数の表現では左から基本的なこと/重要なことの順序にしてカードを並べる。

12. カードを下から上へ読むときには「・・・をして、・・・をする」というように「て」でつながるようにする。

13. 課題を実現する目標イメージのメインキーワードを「・・・を・・・する」という表現で的確に把握する

14. メインキーワードの表現をどれにするかで意見の対立が出たときには、その対立する意見を出した人が「なぜ」相手の言っているメインキーワードより自分が主張しているメインキーワード（目的の結果を表す表現）のほうが妥当であるかをまず表明する。
そして次に、自分が表明した意見にとらわれず相手の意見を聞いた後で関係者で再投票する。そして関係者の中でメインキーワード（目的の結果を表す表現）の一致があるまで繰り返す。（この場合、表現の変更や追加のカードがあっても差し支えない）

15. でき上がったPMDをもう一度上から下へ「・・・を・・・する」のために「・・・を・・・する」という表現で読んでPMDの順序が妥当であるかどうかを確認する。（必要に応じて調整をする）

16. 課題の実現可能性を皆にコンパクトに見えるようにする。

17. カードをランダムに取り出す。

18. PMD（素案）を削る。

19. ここに何かありそうだったところには何も書いてないカードを置く。

1. どこから手をつければよいかのエントランスキーワードを「・・・を・・・する」という表現で的確に把握する。

20. 同じレベルで具体的なアイデアとなるものがある場合には「・・・を・・・する」の表現の下にアイデアボックスを設けて、そのアイデアの表現を入れる。

21. カードの目的と手段の関係で意見の対立が出てきたときは、その対立した意見を出した人がそれぞれ「なぜ」相手の言っている上下関係と比べ、自分が主張している目的と手段の関係のほうが妥当かをまず述べる。そして再調整する。

22. カードの表現の再調整や不足すると考えられるカードを追加する。

23. 同じような表現が二ヶ所以上に必要なときは「第一次のxxをする」「第二次のxxをする」または「ooの素案を作る」「ooの素案を作る」といった表現を追加する。

24. PMDを完成する。

25. PMD（案）を削る。

26. PMD（素案）を削る。

27. テーマPMDの方法により最もよいテーマ表現を選ぶ

テーマ：PMDの作成

質問

1. 要するに、われわれはそれになにをしようとしているのか？
2. 要するに、なにをしさえすればよいのか？

7. 一度作ったPMDを上引用PMDとして、要約して、要約PMDにする

16. 課題の実現可能性を皆にコンパクトに見えるようにする。

24. PMDを完成する。← MAIN KEY WORD

9. 関係者の価値の方向を日で見えるようにする。

13. 課題を実現する目標イメージのメインキーワードを「・・・を・・・する」という表現で的確に把握する。

1. どこから手をつければよいかのエントランスキーワードを「・・・を・・・する」という表現で的確に把握する。

25. PMD (案) を創る。

14. メインキーワードの表現をどれにするかで意見の対立が出たときには、その対立する意見を出した人が「なぜ」相手の言っているメインキーワードより自分が主張しているメインキーワード (目的の結果を表す表現) のほうが妥当であるかをまず表明する。
そして次に、自分が表明した意見にとらわれず相手の意見を聞いた後で関係者で再投票する。そして関係者の中でメインキーワード (目的の結果を表す表現) の一致があるまで繰り返す。(この場合、表現の変更や追加のカードがあっても差し支えない。)

26. PMD (素案) を創る。

15. でき上がったPMDをもう一度上から下へ「・・・を・・・する」ために「・・・を・・・する」という表現で読んでPMDの順序が妥当であるかどうかを確認する。(必要に応じて調整をする)

18. PMD (素素案) を創る。

10. どうしても縦に並ばない表現だけを横に並べる。

11. 同じレベルに並んだ複数の表現では左から基本的なこと/重要なことの順序にしてカードを並べる。

22. カードの表現の再調整や不足すると考えられるカードを追加する。

23. 同じような表現が二ヶ所以上に必要なときは「第一次のxxをする」「第二次のxxをする」または「oooの素案を作る」「oooの素案を作る」といった表現を追加する。

19. ここに何かありそうだったところには何も書いてないカードを置く。

20. 同じレベルで具体的なアイデアとなるものがある場合には「・・・を・・・する」の表現の下にアイデアボックスを設けて、そのアイデアの表現を入れる。

21. カードの目的と手段の関係で意見の対立が出てきたときは、その対立した意見を出した人がそれぞれ「なぜ」相手の言っている上下関係と比べ、自分が主張している目的と手段の関係のほうが妥当かをまず述べる。そして再調整する。

8. 書き出した表現を「・・・を・・・する」ために「・・・をする」という順序に上から下へ並べる。

12. カードを下から上へ読むときには「・・・をして、・・・をする」というように「て」でつながるようにする。

17. カードをランダムに取り出す。

6. 書き出した表現をハサミで切って独立したカードにする

5. 要するに「我々はそれで何をしようとしているのか？」の答えになる内容を「・・・を・・・する」という表現で書き出す。(各表現の書き始めには・印を付ける)

3. テーマを決める。

27. テーマPMDの方法により最もよいテーマ表現を選ぶ

2. テーマ候補名を名詞か名詞句にする。
例：「PMDの作成」、「PMDを作成すること」
ただし、どちらかというところ「PMDの作成」の方がテーマとしてふさわしい。

4. 差の情報による意思決定のメカニズムのパンフレットを読む。

← ENTRANCE KEY WORD

ここに、作成者の名前と作成日時を書く。

97-6-3
作成者の名前
(株) アスキー
江崎, 川手, 作成
97-6-2 改訂

